
アルカディア紀

丸に釘抜き

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アルカディア紀

【Nコード】

N2607BA

【作者名】

丸に釘抜き

【あらすじ】

召喚者によって建国されたアルカディア帝国。建国から千年、新たななる召喚者が呼ばれる。混沌の時代に向かうのか？召喚者が取る道は？

アルカディア大陸

多種多様の民族、種族が区別があっても差別のない大陸

このような状態を作りだすきっかけを作り出したのは一人の英雄、英雄王と呼ばれた人物が建国したアルカディア帝国、帝国は時に戦い、和平を結び、謀略を用いてまで国々を滅ぼし、最終的には各民族と大誓約を誓い大陸を統一した。英雄王の血筋の皇帝家を中心に各種族の協力の元、千年の世に渡って繁栄した。

神都イデ

創造神ヘシオドスを祭るこの神都に神の神託が下された。

「千年に渡る誓約が終わる時がきた。これより混沌の時代がくるかもしれない。よって我が力の一部を授けた人間をこの地召喚せよ、この者大いなる力をもつが善悪定まらず。故に導きをあやまるな。また、ハジメの子孫に伝えよ、ハジメの志を無にするな」

神託が降ったのは実に500年ぶり、召喚の儀に関しては1000年ぶり神都は大混乱に陥った。

帝都ミュケナイ

皇宮の皇帝執務室

皇帝ティベルウス フォン ハタケヤマ ブラウンシュバイクは
宰相オルト フォン リヒテンラーゼに声をかけた

「爺、イデの騒ぎ聞いたか？」

「はい陛下」

「召喚されし者は何処に召喚されるかわかるか？」

「分かりませんが、皇祖は始まりの森に一人で放り出されたと言っていたと伝承が残ってますが。」

「それよりも陛下、召喚者をどうなさるおつもりですか？」

「会ってみて協力を要請する。それしかない、皇祖と同じ力を持っているなら誰も縛り付ける事は出来ない。」

皇祖ハジメ フォン ハタケヤマ ブラウンシユバイクは異世界から召喚者である。

創造神ヘシオドスの封印を解き放ち、大陸中に跋扈していた幻獣を4つの迷宮と大陸東方のペリオン山脈の奥地魔の森に、ヘシオドスの力を借りて閉じ込め大陸から幻獣の被害を無くし、神獣ドラゴンと友になり、大誓約を作った英雄である。

「陛下、召喚者に会う前にイグナス様とお会いになり互いの状況報告をするべきです。」

「それなら各種族の代表にペリオン山で会う段取りをつけてくれ」

「畏まりました。」

「それにしても皇祖の千年の宿題が俺の代とはついてない」

ボヤキとは別に何処か楽しげな皇帝の表情をみて、まだ若い皇帝には余裕があると察知したオルトは付き合うように軽口をたたく。

「うまくいけば陛下、皇祖と並ぶ存在になるかもしれないですよ」

滅多に聞けないオルトの駆る口に笑いながらご苦労と声をかける。

一礼した後、出口に向かう宰相に情報の制限と探索強化を頼むと声かけていく。

振り向くと秘書官を呼び次の執務に移る皇帝の姿があった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2607ba/>

アルカディア紀

2012年1月6日17時50分発行